

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度相模原市市史編さん審議会				
事務局 (担当課)		博物館市史編さん班 電話042-750-8030				
開催日時		平成30年8月8日(水) 午前10時30分～12時00分				
開催場所		相模原市立博物館 小会議室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	市職員	5人(生涯学習部長、博物館長他 計5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 平成29年度及び平成30年度市史・町史編さん事業の実施状況について(報告) (2) 相模原市史続編及び津久井町史の刊行終了について(報告) (3) その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

生涯学習部長及び博物館長あいさつ

3 議 題

市史編さん審議会規則に基づき、樋口審議会会長が議長となり、議事が進められた。

(1) 平成 2 9 年度及び平成 3 0 年度市史・町史編さん事業の実施状況について (報告)

事務局から、平成 2 9 年度市史・町史編さん事業実施結果、平成 3 0 年度市史・町史編さん事業実施状況、市史・町史刊行物の販売状況について報告。

(会長) ただいま、事務局から市史・町史編さん事業の実施状況等について説明があった。相模原市史続編、津久井町史について予定された刊行物の発行が終了したことになる。

ここで、各委員から、市史・町史編さん事業全般についての意見、質問を述べていただきたい。

< 市史・町史の普及活動について >

刊行された市史・町史は大変な力作であると考え。このような市史・町史の存在について、全国紙の新聞等を利用して体的にも広くアピールしたらいかか。

今までも、市史・町史を刊行した際に記者発表を行ったり、市ホームページやタウン誌への掲載などによるアピールを行ってきたが、ご意見を参考として広報に努めていきたい。

市民に対しても、市史・町史について、色々な方法で宣伝をしていくべきである。

7 月 2 7 日に開催された相模原市市史編集委員会においても、例えば市史・町史刊行物の一覧を見やすいリーフレットの形で用意したらどうかなど、同様のご意見をいただいている。今後、様々な機会をとらえて、市民の皆様や市外に対しての普及活動を活発化するよう検討していきたい。

市史・町史の刊行は終了したが、今後も普及活動を継続していくべきである。市史・町史講演会に参加されるのはどの位の年齢層の方が多いか。

参加くださる方の大半は高齢者の方である。

若い世代の方にも参加してもらえるような対話形式にするなど工夫してほしい。また、リーフレット等を作成配布するなどの方法も有効と考える。

若者の市史・町史の利用を促すよう、普及活動に努めてほしい。

市内の各地域に関連のある事柄をとりあげて、市史・町史を普及することも大事であるとする。たとえば、相武台公民館で実施している、当該地区の戦時中の出来事をテーマにした企画展の開催などの例も参考となるであろう。

全国的に市史・町史の存在をアピールする方法として、行政関係雑誌等への掲載も検討したらいかがか。

<市史・町史の評価等について>

市内に住んでいても、地元で過去に起きた出来事や口伝えなどについて、断片的な見方しかできないものだが、市史にはそれらの根拠となる事柄が記載されており、民俗学的な調べものをする際の基礎資料となるもので、大変貴重な刊行物であるとする。

<市における資料の保存について>

旧相模原市域の資料について調べようとした場合など、資料年代によって担当部署や保管場所が異なっており、苦勞することがある。関係部署と連携し、市として、資料の収集、保存、閲覧に関する大綱を策定し市民にわかりやすい体制・組織にしてほしい。

現在、明治22年以降の歴史的公文書は公文書館、それ以前の文書は博物館で保管している。今後、博物館所蔵の旧村文書などの歴史的公文書についても公文書館に移管する予定である。

「公文書館」とは、本来、歴史資料全般を収集・保存すべきものである。収集・保存対象とする資料の範囲については「公文書」と限定的に決めるのではなく、広い視野で検討を加えていただきたい。

<市史編さん事業の今後のあり方に関する意見書について>

平成29年12月6日に当審議会が市に対して「市史編さん事業の今後のあり

方に関する意見書」を提出し、市史資料の保存・整理・利活用を行なうことを求めたところであるが、それに対する市の対応はいかがか。

職員配置については、現時点で確定的な答えはできないが、当該業務を担当する職員の配置や再任用職員等の確保を検討中である。市史資料の保存・整理・利活用の重要性は十分認識しているので、来年度以降も継続的に行ないたいと考えている。

議題（１）については、以上でよろしいか。（了承）

（２）相模原市史続編及び津久井町史の刊行終了について（報告）

事務局から、市史・町史編さん事業の経過、市史続編・町史に係る刊行物について報告。

刊行された市史・町史刊行物の電子データ化及びインターネットによる公開の予定はいかがか。

C D版やD V D版を作成したのものも有るが、それ以外の市史・町史刊行物においては、著者の著作権保護の見地からインターネットによる公開は困難な状況である。

議題（２）については、以上でよろしいか。（了承）

（３）その他

（会長）

これをもって、市史編さん審議会において、相模原市史続編及び津久井町史についての審議が終了したこととなります。委員各位の長きにわたるご尽力に感謝いたします。

4 閉 会

以 上

平成30年度 相模原市市史編さん審議会 出席者名簿

(任期：平成29年7月31日～平成31年7月30日)

開催日時：平成30年8月8日(水) 午前10時30分

氏名 (50音順・敬称略)	関係役職名	出欠席結果
岡田 万里子	学識経験者(桜美林大学准教授)	出席
高村 敦子	学識経験者(元相模原市立中央中学校教諭)	出席
千葉 宗嗣	市民公募委員	出席
中島 聡	市民公募委員	出席
中村 洋子	学識経験者(大野南公民館長)	出席
長澤 敬子	学識経験者(相模台公民館長、元相模原市立くぬぎ台小学校長)	出席
奈良 雅之	学識経験者(元相模湖町立北相中学校長)	出席
樋口 雄一	学識経験者(元神奈川県立公文書館郷土資料課長)	出席
守屋 浩之	学識経験者(津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員)	欠席
矢野 英明	学識経験者(元帝京大学教職大学院客員教授)	出席

出席者 計9名